

学び意欲

強いからだ

ゆたかな心

平成30年度 五福小だより

平成30年10月15日(月) NO. 20

11日(木)12日(金)・・・山の学習 1日目



山の学校に着いて最初に行う活動は、「採火活動」です。

係の人は、とても上手に木をこすり合わせていました。それでもなかなか火をつけることは難しかったのです。

今は、あっという間に火をつけることはできますが、昔の人が苦勞



をしながら、火を手に入れていたことが分かりました。

この採火活動で作った『友情の火』は、山の学校にいる間、ランプに灯されます。そして、様々な活動に使われていきます。

雨がまだ降っていましたが、屋根がある場所があるので、「野外炊事」は、予定通り行われました。

火がつきやすいように、なたで細い薪を作ります。火吹き竹で空気を送り込みます。大きな火にすることは難しかったのですが、できるととても達成感がありました。もちろん、火は、



『友情の火』からつけました。

火の管理と平行して食材の皮をむいたり、細かく切ったりしました。

それぞれに分担して、がんばりました。缶詰を開けるのは大変なことでした。でも、みんなで作ったカレーは、いつも以上においしく感じました。



大変だったのは、その後の片付けです。すすが付いた飯ごう・なべ洗いは、合格するまでにはずいぶん時間がかかったり、食器の数が足らなかつたりと苦戦する姿も多く見られました。

不便さを体験することで、今の生活のよさを実感できました。また、いつも家

事をしてくれているお家の人の大変さを知り、感謝の気持ちも生まれたようです。これからは、今まで以上に、お家でお手伝いができるといいですね。

残念ながら、その後も雨がやまず、「がけ登り」と「がけ滑り」ができなかったので、いろいろの家で「カブラ」や「ドミノ」を行いました。

雨はやんでいましたが、「キャンプファイヤー」は足元が悪いので、「キャンドルサービス」に変更しました。キャンプファイヤーとは、また違った幻想的な雰囲気、楽しみました。この火も『友情の火』を女神が運んで来ました。



それぞれのグループで行ったスタントはどれも楽しく、特別ゲストまで登場しました。盛り上がりました。

会の終わりには、一人一人キャンドルを持ち、今日の日を振り返ることができました。

また、友達と一緒に寝ることも楽しかったようです。

2日目

天気も回復し、秋空の下、「暗夜行路」を行いました。

昨日の雨で、すべりやすくなっていたので、悪戦苦闘した人もいました。でも、最初の3つの約束を守ろうとがんばっている姿が大変すばらしいと思いました。私は、声をかけたり、手をさしのべたりしたくなりましたが、じっと見守ることの方が大事な場合があることを学びました。



山の先生からは、「暗夜行路を通して、強い自分弱い自分を見つめ直すことができたと思うので、よりよい自分にしていこう」というまとめの言葉をいただきました。今後に生かしたいお話でした。

その後、「うぐいす笛」を作って、山の学校のお土産もできました。



退所式の前に、退所前点検が行われました。すぐに合格をもらえた部屋もあれば、室長・副室長が、ほとんどの布団をやり直さないといけない部屋もありました。不平を言うことなく、友達の直しをしている姿がすばらしいと思いました。

退所式では、「友情の火」が係の子どもによって滅火され、「山の学習」は終わりました。初めての宿泊研修で、お家の方と離れての生活でしたが、本当に多くのことを学ぶことができたと思います。

一泊二日ではありましたが、子どもたちは、今できていること、これからできたらいいことを自分なりに振り返ることができたのではないかと思います。保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。

